

# 社会福祉法人 三徳会 会報 【令和4年度事業の報告】

令和5年9月 1日

関係各位におかれましては、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

令和4年度の事業の概要について、以下のとおりお知らせいたします。

## 1、事業報告

- ① 法人本部：理事会4回、評議員会1回開催しました。決算理事会において、監事から健全に運営されている旨の監査結果が報告されました。十和田めぐみ保育園園舎整備時の福祉医療機構借入金、元金本年度分返済額 1,050,000 円を償還しました。みきの保育園敷地を十和田市より取得しました。
- ② 十和田めぐみ保育園：105名定員で3月末の入所児童数は109名。年間平均入所率は99.3%でした。3月末の全職員数は35名でした。豊川美智子新園長のもと、感染症の影響も比較的少なく、行事等はやや縮小しましたが、園の特色である縦割り保育も年度後半に復活しました。職員間の協力体制も良く、楽しく園生活を送れました。だいじとの連携や意思疎通、共通の研修も円滑になってきました。園庭に屋外シャワーを設置して、3歳未満児の外遊び後のシャワーが容易になりました。
- ③ みきの保育園：105名定員で3月末の児童数は93名、年間平均入所率は90.3%でした。3月末の職員数は26名でした。感染対策のため行事や保育に若干の制限はありましたが、概ね元気で楽しく過ごすことができました。だいじに運営資金を繰り入れました。保育研修に力を入れました。LPガス振興センターより8百8万円の補助金を得て、非常災害対策と空調設備改修の両立を測る災害バルク設置とLPガス空調設備設置の改修事業を行いました(1,788万円)。積立金からの支出によって、十和田市より園舎敷地を取得しました。これにより運営基盤が強化されました。市の中心部に位置する認定こども園として、子育て支援の機能を活用していきたいです。
- ④ だいじ：登録人数は増加してきましたが、感染症が流行すると利用人数が大きく減少するなど、運営はまだ不安定でした。また、公認心理士、作業療法士、保育士と専門職種を揃えていることで人件費支出が大きく、みきの保育園より運営費の援助を受けました。ご利用頂く児童やご家族の支援に加えて、利用児童の所属園や各仲よし会への訪問支援を通して、よりよい支援ができるように努めました。アンケートからはだいじからの情報発信が少ないことが指摘されたので、おたよりや保護者会開催に努めます。また、職員研修を強化して支援の向上を図り、また、所属する園や仲よし会等のお役に立てるように一層力を付けたいです。
- ⑤ 地域子育て支援センター：工藤美賀子新センター長のもとで、創意工夫に富んだ楽しい子育て支援を行いました。市現代美術館展示施設の正面にある利点を活かして、アート活動にも力を入れ、楽しんでいただきました。また、ファミリーサポートセンターと協力して、地域への子育て支援を行いました。
- ⑥ 地域健全育成事業(ちとせ小学校仲よし会)：3月末で145名の在籍でした。9名の支援員に加えて、シルバー人材センター派遣の支援員補助員を活用しています。新型コロナウイルスの感染が発生して、学校と連動して最低限の単位閉鎖等がありました。また、職員の指定が感染したことにより職員が休む事態が数回ありました。概ね楽しく過ごすことができました。
- ⑦ ファミリーサポートセンター事業：当該年度を以て事業を終了しました。支援会員のなり手不足が数年来の課題であり、社会福祉協議会などの公共性が高い機関が受託した方が良くと市や社協に提案してきたところ、NPO 法人ハピタの様が受託することに決定しました。年度後半には、円滑な業務の継続のために引継業務を丁寧に行いました。

☆職員一同、これからも研鑽を重ねます。どうぞよろしくご厚情申し上げます。

令和4年度 決算報告書概要

社会福祉法人 三徳会

貸借対照表

令和 5年 3月31日 現在

単位:円

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	60,653,772	流動負債	28,041,160
固定資産	373,329,999	固定負債	4,858,800
基本財産	163,583,037		
その他の固定資産	209,746,962		
		負債の部合計	32,899,960
		純 資 産 の 部	
		基本金	40,155,720
		国庫補助金等特別積立金	69,694,899
		その他の積立金	164,000,000
		次期繰越活動収支差額	127,233,192
		純資産の部合計	401,083,811
資産の部合計	433,983,771	負債及び純資産の部合計	433,983,771

資金収支計算書

自:令和4年 4月 1日

至:令和5年 3月31日

単位:円

事業活動	事業活動収入計(1)	359,622,087
	事業活動支出計(2)	326,095,772
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	33,526,315
設備整備	施設整備等収入計(4)	8,429,800
	施設整備等支出計(5)	54,536,050
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	▲ 46,106,250
その他活動	その他の活動による収入計(7)	33,120,000
	その他の活動支出計(8)	19,120,000
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	14,000,000
予備費(10)	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	1,420,065	
前期末支払資金残高(12)	32,837,747	
当期末支払資金残高(11)+(12)	34,257,812	

事業活動計算書

自:令和4年 4月 1日

至:令和5年 3月31日

単位:円

サービス活動	サービス活動収益計(1)	355,213,187
	サービス活動費用計(2)	338,631,344
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	16,581,843
サービス活動外	サービス活動外収益計(4)	4,408,900
	サービス活動外費用計(5)	0
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	4,408,900
経常増減差額(7)=(3)+(6)	20,990,743	
特別	特別収益計(8)	8,579,800
	特別費用計(9)	8,429,802
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	149,998
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	21,140,741	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	92,092,451
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	113,233,192
	基本金取崩(14)	0
	基本金組入額(15)	0
	その他の積立金取崩額(16)	33,120,000
	その他の積立金積立額(17)	19,120,000
次期繰越活動増減差額 (18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	127,233,192	

なお、詳細については事務室にて閲覧できますので、ご希望の方はお申し出頂きますようお願いいたします。